

様式第4号（第11項関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和7年度第2回西脇市まちづくり推進審議会
開催日時	令和7年11月10日（月）午後7時00分～9時00分
開催場所	西脇市役所 大会議室
出席委員の氏名 又は人数	平田富士男会長、藤原悟副会長、松尾憲子委員、 藤井琢己委員、松山千鈴委員、來住啓子委員、 高澤有可里委員、田中美紗子委員、西山桂委員、 堀井悠次委員 計10名
欠席委員の氏名 又は人数	森川元良委員、清水賢一委員、竹内諭委員、 竹本愛委員 計4名
出席職員の職・ 氏名又は人数	都市経営部長 渡辺和樹、まちづくり課長 藤原広 三、まちづくり課課長補佐 二若直也、まちづくり 課職員 野村悟史、片岡雪乃 計5名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1名
議題又は協議事項	1・2 開会、市民憲章朗唱 3 あいさつ 4 報告事項 (1) 令和6年度の審議会の開催状況について (2) 市民提案型まちづくり事業の審査結果につ いて (3) 地区まちづくり実践補助事業の審査結果につ いて (4) 前回ご提出いただいた意見に対する担当課か らの回答について 5 協議事項 市民主体のまちづくり活動の活性化に資する方 策について 6・7 今後の予定について、閉会
会議の記録（概要）	
発言者	発言内容等
	1・2 開会、市民憲章朗唱

	<p><b>3 会長あいさつ</b></p>
<p>事務局 会長 事務局 部会長 事務局</p>	<p><b>4 報告事項</b></p> <p>(1) 令和6年度の審議会等の開催状況について 資料1「令和6年度に開催された審議会等の開催状況等一覧表」に基づき、事務局から説明 委員公募の状況はどのようなものか。 広報紙やホームページ等で公募をしているが、応募が少ないのが現状である。</p> <p>(2) 市民提案型まちづくり事業の審査結果について</p> <p>(3) 地区まちづくり実践補助事業の審査結果について 資料2「西脇市市民提案型まちづくり事業企画書の審査結果について」及び資料3「西脇市地区まちづくり実践補助事業の審査結果について」に基づき、西脇市まちづくり推進審議会審査部会長から説明</p> <p>(4) 前回ご提出いただいた意見に対する担当課からの回答について 資料4「前回ご提出いただいた意見に対する担当課からの回答について」に基づき、事務局から説明</p>
<p>事務局 委員 会長</p>	<p><b>5 協議事項</b></p> <p>市民主体のまちづくり活動の活性化に資する方策について 資料5「市民主体のまちづくり活動の活性化に資するアイデア一覧」及び資料6「西脇市のまちづくり活動をさらに活性化させるために」に基づき、事務局から説明</p> <p>前回の審議会後に「まちづくりのとびらをあけてみたら」を活用した啓発資材（年齢やシーン別）を作成というアイデアを追加提案した。「まちづくりのとびらをあけてみたら」を子ども向けのワークシートにアレンジし、8月の西脇こども会議で使用したところ、子どもたちにまちづくりを考えてもらういい機会になった。今回は子ども向けにアレンジしたが、普段からまちづくり活動をされている方や、最近始められた方の意識を1段階あげれるようなワークシートができればいいなと思い、このアイデアを追加した。</p> <p>「まちづくりのとびらをあけてみたら」の内容について協議したこのメンバーで、ワークシート版の協議ができればと思うがどうか。</p> <p>昨年度作成したものはまちづくり活動の普及啓発を目的としたリーフレットであったが、それをアレンジし、まちづくり活動について、子どもが考えやすくなるようなワークシ</p>

委員	<p>トを作成した。今年度の審議会で、まちづくり活動に関心を持った大人向けのワークシート作成に関する協議をしてみようかという提案であったが、今回この議論をするには時間が限られているため、次回の審議会で、事務局が作成したワークシート案をもとに議論できればと思うがどうか。</p>
委員	<p>前回、各委員から提案があった市民主体のまちづくり活動の活性化に資するアイデアを全て実行するのは難しいと思っていたが、先ほどの提案のとおり、実際のワークショップ等で使用できるワークシートについて協議を進め、そのワークショップに参加した人が西脇市のまちづくりについて考えてもらえればいいと思う。その他のアイデアも、答申書の参考資料として掲載すればわかりやすいのでは。</p>
委員	<p>私もこども会議に参加したが、子ども向けワークシートを使用されていたこと、まちづくり課の職員も参加されていたことに驚いた。このワークシートのおかげで、子ども達もいつもより積極的に意見を言えていたように思う。しかし、地区によって子どもたちの参加状況にバラつきがあったことが残念だった。各学校の総合的な学習等でこの子ども向けワークシートを活用できればいいと思う。</p>
事務局	<p>子どもたちがワークシートを使用し、自分の考えをまとめ発表することは素晴らしいことだと思う。大人も同じような流れで、まちづくり活動について検討してはどうか。</p>
事務局	<p>ワークシートに関して、どのような方にどのようなものを作成したらいいか、次回までにご意見をいただければ、事務局としては作成しやすい。</p>
会長	<p>今の議論は論点が2つあって、1つはまちづくり活動を活性化させるためには、どのようなツールがいいのか、もう1つはそのツールをどう使うかということである。良いツールができて活用できる場がなければ、宝の持ち腐れとなってしまう。ワークシートは今のままだでもいいのかも知れない。うまく活用できる方法や場所が確保できるかが重要である。</p>
事務局	<p>それでは元の議題に戻り、本日のワークショップの進め方について事務局から説明を願う。</p> <p>事務局からワークショップの進め方について説明</p> <p><b>【ワークショップのルール】</b></p> <p>市民主体のまちづくり活動を活性化させるには、資料6に記載されている、どのターゲットにどのテーマの取組を実施することが効果的であるかを委員それぞれが検討し、効果的</p>

会長

だと思った組合せに投票する。なお、各委員は5票投票できることとし、1つの組み合わせに重複して投票することも可とする。

出てきたアイデアを全て実行する訳にはいかないもので、どのような方を対象に、どのような取組を実施すべきかという観点で考えてもらいたい。

ワークショップ（投票）を実施

【投票の結果】

ターゲット	テーマ									横軸の集計
	交流・連携	情報発信	子ども・親子	コミュニケーション	運営支援	まちづくりを楽しむ	地域とつながる	行政との協働	その他	
①まちづくり活動のリーダー (団体目線)	5				3					8
②まちづくり活動の参加者 (個人目線)	3	3		1	2					9
③まちづくり活動の予備軍 (何かおかしい、何か必要と うず感じているが、どうしたら 良いか分からない人)	5	4	3		2	5	1			20
④まちづくり活動の未認識者 (まちづくりの意義や必要性等に 気付いていない人)	3		2	2		1	2			10
縦軸の集計	16	7	5	3	7	6	3	0	0	

会長

票がばらけるかと思ったが、皆さん同じ思いを持っているようである。テーマ別で見ると、「交流・連携」や「情報発信」、「まちづくりを楽しむ」が票が多く、ターゲット別で見ると「まちづくり活動の予備軍」が多い。皆さんの意識として、まちづくり活動の予備軍（何かおかしい、何か必要と  
うず感じているが、どうしたら良いか分からない人）に対し、「交流・連携」や「まちづくりを楽しむ」等のアプローチを行う必要があると考えられているということが読み取れた。

委員

この投票結果を見て、各委員から意見をお願いしたい。  
まちづくり活動に誘われると参加するが、運営側を担うのは避けたいと思われる方がまちづくり活動の予備軍に多いように思われる。人の繋がりを大切にする社会から個性を尊重する社会に変化してきており、団体行動が苦手な方が増えてきているように感じる。

委員	<p>自治協議会の役員（リーダー）をしている立場からすると、団体の後継者がほしいというのが切実な願いである。まちづくり活動の予備軍の人にまちづくりの楽しさを伝え、その中でリーダーも育てていけばいいと思う。また、まちづくり活動に参加するだけでなく、企画から参加してくれるような方が増えてもらいたいので、まちづくり活動の予備軍に対するアプローチを頑張りたいと思う。</p>
委員	<p>投票の結果を見て、やはり「まちづくりを楽しむ」ということが1番大切だと思った。今年で芳田ふれあいフェスタは4回目の開催となったが、今年は特に多くの人に来場いただいた。毎年内容をバージョンアップしたことで、イベントを楽しんでいただき、皆さん誘いあってイベントに来てもらえたのだと思う。芳田自治協議会では、楽しいと思う活動をどんどん広げ、深めていっている。最初から市内全体のまちづくりを盛り上げようとするのではなく、まずは自分たちの地域を盛り上げ、自らがまちづくりを楽しみ、他団体との交流・連携等に繋げられればいいのではないかな。</p>
委員	<p>まちづくり活動の予備軍に対し「まちづくりを楽しむ」というアプローチするところに多く投票されたことは素晴らしい。楽しくまちづくりに参加できると、そこで新たな繋がりができ、次のまちづくり活動に参加するきっかけになる。芳田自治協議会の「いちごの里親子マラソン」の当日の活動記録を見た方が、今回はこのイベントに参加したいと言っていた。まちづくり活動の予備軍に対し、楽しいまちづくり活動を広め、活動に参加してもらおうという流れを作ればよい。</p>
委員	<p>私もまちづくり活動の予備軍に対するアプローチが1番重要であると思う。まちづくり活動に参加するきっかけとなるようなまちづくりポイント制度の創設やまちづくりについて考えてもらおうきっかけとなるワークシートがあれば、予備軍の方が一歩踏み出す手助けになると思う。予備軍の人たちが何をしたいのか具体化できれば、まちづくり活動の参加者やリーダーが増えていくのではないかな。</p>
委員	<p>私も「まちづくりを楽しむ」ことが重要だと思う。何か見返りがないとまちづくりを始めにくいと思うため、楽しいと思える見返りのようなものが必要だと思う。</p>
委員	<p>また、資料5の中に「子ども・親子」のジャンルがあることも重要な視点だと思う。子どもには、学校や習い事など色々なコミュニティがあり、そのコミュニティには親も関係し</p>

委員	<p>ている。子どもと親と一緒に楽しめるイベントがあれば、活性化につながるのではないかと。</p> <p>私もまちづくり活動の予備軍×子ども・親子のところが重要だと思っている。今度、多可町で開催される、子どもたちが企画して運営するイベントに参加するが、子どもが自分たちで考えて活動することは、子どもにとって良い経験になり、またその親も企画がうまく進むように色々お手伝いする。子どもたちと地域の人との繋がりが増えれば、地域全体が盛り上がり活性化に繋がると思う。</p>
委員	<p>まちづくり活動団体の運営側からすると、次のリーダーとなる世代は50～60代をイメージされると思うが、30代の私たちの世代は、まちづくりをする際に、既存の団体（自治協議会等）に入って活動するという発想がないのが正直なところである。まちづくりをしたいと思う方は、個人やコミュニティを作って動き出す方が多いと思うので、まちづくり活動のリーダーとまちづくり活動の予備軍は必ずしも繋がっていないように思う。これからの西脇市のまちづくりを考えると、どちらも大切なので、どちらかにターゲットを絞ることは難しいように感じる。</p>
委員	<p>黒田庄地区で6～7年前に実施したまちづくり活動に係る住民アンケートでは、7割の方が自分から進んでまちづくり活動をしませんが、誘われたらまちづくり活動に参加するというものであった。このような予備軍の意識をどう底上げするか、まちづくり活動に参加するだけでなく、「まちづくりに参加すると楽しい」という意識を持って参画してもらうにはどのようにすべきかを考える必要がある。</p>
会長	<p>前回の段階ではアイデアを出しただけであったが、そのアイデアをグルーピングし、更にマトリックスに分け、その中でどこに注力すべきかが見えてきたと思う。</p> <p>具体的に何をすべきかを考える必要があるが、誰に対して何を伝えるかを明確にして考えていきたい。本日の意見や投票結果をもとに、資料6にあるアイデアを組み合わせ、施策の方向性を検討していきたい。</p>
	<p><b>6・7 今後の予定について、閉会</b></p>
問合せ先	<p>都市経営部まちづくり課</p>